

展覧会紹介

郵政博物館が主催した展覧会

「令和5年度 新収蔵資料展」

期間：2023年6月17日（土）～7月2日（日）

会場：郵政博物館（多目的スペース）

概要：当館では、明治35（1902）年6月21日に郵便博物館ではじめて資料の一般公開が行われたことを記念し、同日を「資料の日」と定めている。新収蔵資料展は原則として毎年この日を含む期間に開催するもので、今年度は令和4年度の寄贈資料のうち、「訓諭」「郵便切手・魚介シリーズ「とらふぐ」制作資料（日本画家・田中申吾スケッチ等）」「ドライバース端末システム（DREAM）」など54点を紹介した。



【夏休みイベント】「ぼすくまと夏休みin郵政博物館」

期間：2023年7月15日（土）～9月3日（日）

会場：郵政博物館（企画展示場）

概要：森の郵便局で働く、くまのぬいぐるみの郵便屋さん「ぼすくま」。ぼすくまと仲間たちの世界が郵政博物館に登場、ぼすくまの原画や関連作品を紹介したほか、ふみの日にちなんだ切手や日本画の巨匠たちが描いた「魚介シリーズ」切手の原画等も併せて展示した。また、ぼすくまの着ぐるみグリーティングや切手デザイナーによるトークイベント、手紙ワークショップなど、手紙振興を目的としたイベントも開催した。



「震災からの復旧と郵政」

期間：2023年8月19日（土）～2024年3月24日（日）

会場：郵政博物館（常設展示場）

概要：今から100年前の1923（大正12）年9月1日に発生した関東大震災により東京市、横浜市をはじめとする関東地方は壊滅的な打撃を受けた。都市としての機能を喪失した中において、郵便局窓口は早期に再開し、避難所の配達、各地からの車両型郵便局、郵便自転車の調達など、郵便業務も早急に善後策を立て被災者へのライフラインを構築した。震災に対する郵政事業の迅速な対応は、過去日本が幾度となく遭遇した災害に関する経験と知識の蓄積によるところが大きい。本施策では、関東大震災から東日本大震災までの災害時の郵政（通信）事業の対応策を郵政博物館収蔵資料（震災当時に撮



影された写真、米村嘉一郎の功績を称えるメダル、震災はがき、阪神・淡路大震災の記録、東日本大震災で被災した旧かんぽの宿松島から回収した鍵などを展示して紹介した。

【企画展】「お宝みせます！ 郵政博物館の重要文化財展」

期間：2023年9月16日（土）～12月3日（日）

会場：郵政博物館（企画展示場）

概要：ふだん、目に触れる機会が少ない重要文化財を3回に分けて公開した。11月3日は文化の日。毎年、この日を含む一週間は「教育・文化週間」といい、教育や文化に関する様々なイベントが開催される。文化の秋にふさわしく、郵政博物館にある重要文化財を紹介する展示会を開催した。併せて、楽しく学べるワークショップなどのイベントも行った。



【企画展】「辰年年賀状展」

期間：2023年12月7日（木）～2024年1月8日（月・祝）

会場：郵政博物館（企画展示場）

概要：辰年の年賀切手の意匠となる郷土玩具やお年玉付き年賀はがきやお年玉付き年賀切手の賞品などを紹介。さらに、日本漫画家協会所属の漫画家の先生方の描きおろし辰年の年賀状、日本絵手紙協会による「みんなの絵手紙年賀状展2024」を展示した。



【企画展】「猫のダヤン40th タシルの街へようこそ！」

期間：2024年1月13日（土）～3月24日（日）

会場：郵政博物館（企画展示場・多目的スペース）

概要：誕生40周年を迎えた「猫のダヤン」の企画展を開催。ダヤンと仲間たちが暮らすタシルの街をめぐる体感アートイベントでフォトスポットやなぞときコーナー、原画展示など大人から子供まで楽しめる盛りだくさんの内容であった。ダヤン等の着ぐるみگریーティングや各種ワークショップも開催した。



【共同主催】「STAMPEX JAPAN 2024（スタンペックスジャパン2024）」

期間：2024年3月30日（土）～4月1日（月）

会場：郵政博物館（企画展示場・多目的スペース・旧ミュージアムショップ）

概要：国際切手展準拠の切手コレクションを競う国内審査切手展。郵政博物館と特定非営利活動法人郵趣振興協会とのダブル主催。部門を「伝統郵趣」「郵便史」「ステーションナリー」「郵趣文献」及び「ワンフレーム」の5部門に限定、18作品90フレームを展示した。



郵政博物館が協力した展覧会

「世界切手まつり STAMP-SHOW2023」

期間：2023年4月21日（金）～4月23日（日）

主催：公益財団法人日本郵趣協会

協力：切手の博物館、郵政博物館、日本郵便切手商協同組合、手紙社

会場：東京都立産業貿易センター台東館6・7階

概要：郵便切手文化の大切さ、手紙を書くことの楽しさを伝えるワークショップ、スタンプリアー等を開催。スタンプリアーの相互連携（スタンプの設置、参加者への記念品贈呈）、2022年度の当館企画展「おいしい切手展」のパネル貸出、「フリースタイル切手展2023」の選考委員として学芸員の派遣を行った。

第58回全国切手展 JAPEX2023「関東大震災100年 関東大震災と郵便」展

期間：2023年11月3日（金・祝）～11月5日（日）

主催：公益財団法人日本郵趣協会

協力：一般社団法人全日本郵趣連合、日本郵便切手商協同組合、公益財団法人通信文化協会、ウクライナ郵政

会場：東京都立産業貿易センター台東館6・7階

概要：全国の切手愛好家を対象に、郵便切手類及び郵便制度の研究結果を発表するコンクール形式の展覧会。「大正12年震災写真帖」「大震災記」「震災切手」「東宮御婚儀祝典記念切手」など24点を貸出。公益財団法人通信文化協会賞状提供、記念講演への学芸員の派遣を行った。

郵政博物館収蔵資料が展示された展覧会

電気通信大学UECコミュニケーションミュージアム

期間：2023年4月1日（土）～2024年3月31日（日）

会場：電気通信大学UECコミュニケーションミュージアム

概要：「火花式送信機コイル切替盤」「コヒーラ／デコヒーラ検波器」「シーメンスモールス受信機」を貸出。

KDDI MUSEUM

期間：2023年4月1日（土）～2024年3月31日（日）

会場：KDDI MUSEUM

概要：「エンボッシング モールス電信機〈ペリー将来〉」（レプリカ）を貸出。

博物館明治村内 宇治山田郵便局舎

期間：2023年4月1日（土）～2024年3月31日（日）

会場：博物館明治村内 宇治山田郵便局舎

概要：「郵便差出箱一号丸型」「郵便起動車」「鉄道郵便車模型」「通送用時計」など一般資料25点を貸出。

企画展「頸城油田の盛衰—日本一の手掘り技術—」

期間：2023年7月15日（土）～10月29日（日）

会場：上越市立歴史博物館

概要：「玄藤寺村馬屋村達野村石油場略図」を貸出。

企画展「関東大震災100年—本所の被害と復旧、残されたもの—」

期間：2023年8月19日（土）～10月22日（日）

会場：すみだ郷土文化資料館

概要：「震災写真帖」「〔写真帳〕大震災による通信機関の被害」を貸出。

大手町プレイス五周年記念イベント「郵政博物館特別展示」

期間：2023年10月23日（月）～10月27日（金）

会場：大手町プレイス（1階セントラルプロムナード）

概要：「明治20年代の郵便配達員」「夜間航空便初飛行（東京羽田）」「書状集箱（都市用）」「黒塗柱箱」等の画像データを提供。

鉄道貨物輸送150周年記念特別展「汐留駅にみる貨物鉄道と通運のあゆみ」

期間：2023年10月28日（土）～2024年1月21日（日）

会場：物流博物館

概要：「東京市街俯瞰写真」の画像データを提供。

三島市郷土資料館企画展「三島宿へようこそ」

期間：2023年10月28日（土）～2024年2月18日（日）

会場：三島市郷土資料館

概要：「東海道分間延絵図控」（拾三巻之内貳・参）を貸出、「東海道絵巻」の画像データを提供。

企画展「動物のくらしとかたち—藪内正幸が描いた生態画の世界—」

期間：2024年2月23日（金・祝）～5月12日（日）

会場：神奈川県立生命の星・地球博物館

概要：切手原画「自然保護シリーズ第2集・アホウドリ」を貸出。